

2022年度事業計画書

(2022年4月1日より2023年3月31日まで)

1. 基本方針

2022年度は前年度に引き続き、バイオサイエンス分野において3つの助成事業（研究助成、国際交流助成、学会等開催助成）を実施する。研究助成において、4年目を迎える環境バイオ分野（奨励研究）の応募増に向けて引き続き効果的なPR活動を行う。また、2021年度の実績が45件と前年69件（前々年54件）から大幅減となったバイオテクノロジー分野についても、選考委員との意見交換等を行いつつ応募増（回復）に向けたPR活動を実施する。

コロナ禍の影響長期化を受けて国際交流助成の予算が2年連続で大幅に余ったこと等により、事業費全体としても2年連続で予算を余す見込みであり、2021年度末で約4百万円の累積予算残額が見込まれるので、主に研究助成3分野において、「2」の予算枠に上乗せする形で可能な限りこれを使い切る方針とする。

2. 事業の内容

(1) 第34回加藤記念研究助成

- 助成の概要 : バイオサイエンス分野における有能な若手研究者を発掘し、その創造的かつ先駆的研究を支援することを目的とする。合わせて環境バイオ分野におけるSDGs(Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標))への貢献を目指す。
- 助成対象者 : メディカルサイエンス分野およびバイオテクノロジー分野の研究者。年齢制限は40歳以下もしくは博士号取得後10年以内のいずれか年齢の高い方。ただし環境バイオ分野(奨励研究)枠においては年齢制限を35歳以下とする。また産休・育休取得者(取得経験者含む)等は年齢制限を緩和する。
- 助成金額 : メディカルサイエンス分野およびバイオテクノロジー分野で計27件程度、各200万円を助成。環境バイオ分野は3件程度、各100万円を助成。総予算5700万円。
- 募集方法 : 公募。申請者の所属する機関(部局)の長の推薦を要する。
- 応募期間 : 2022年7月1日～9月30日
- 選考 : 選考委員会にて審査し、その答申に基づき理事会で決定する。

(2) 第34回加藤記念国際交流助成

- 助成の概要 : 有能な若手研究者の国際交流推進を目的として、海外の学会等で発表

	する際の渡航費等を助成する。
助成対象者	: 海外で開催されるバイオサイエンス分野の学会、シンポジウム等で、自己の国内での研究成果を発表予定の研究者
助成金額	: 渡航先により 10 万円から 30 万円。オンライン開催の学会等は実費（上限 10 万円）。※2022 年度総予算 200 万円。
募集方法	: 公募。申請者の所属する研究機関の上長の推薦を要する。
応募期間	: 上期 2022 年 1 月 4 日～2 月 28 日（4 月～9 月までの学会対象） 下期 2022 年 7 月 1 日～8 月 31 日（10 月～翌年 3 月までの学会対象）
選考	: 選考会または書面にて審査し、その答申に基づき理事長が決定する。 ※コロナ禍前は例年 800 万円近い実績があったが、2022 年度上期見込みは極めて少額（1 月 28 日現在：応募 0 件）、新型コロナ収束状況が不透明であることから下期も例年の半額程度と想定した。

（3）第 34 回加藤記念学会等開催助成

助成の概要	: 新たな研究領域の発展・研究者交流の促進を目的に、学会・研究会等の開催を支援する。
助成対象	: 国内外で開催されるバイオサイエンス分野の比較的小規模の学会等
助成金額	: 一件当たり 10 万円、20 万円、30 万円のいずれか。総額 300 万円。
募集方法	: 公募
応募期間	: 2022 年 11 月 1 日～11 月 30 日
選考	: 選考会にて審査し、その答申に基づき理事会で決定する。

（4）第 13 回加藤記念研究助成報告・交流会

第 31 回研究助成受領者（研究助成期間：2020 年 4 月から 2022 年 3 月まで）を対象に、第 13 回研究助成報告・交流会を 2022 年 10 月前後に開催し、研究者・関係者間の交流を図りバイオサイエンスの発展に資する。

（5）第 34 回加藤記念研究助成贈呈式

第 34 回研究助成の贈呈式を 2023 年 3 月 3 日（金）に開催する。研究助成受領者による研究計画発表、選考委員による特別講演および祝賀会を併せて行い、関係者間の交流を図る。

（6）財団年報（第 23 号）発行、パンフレット更新

当財団の事業活動を社会に普及し、バイオサイエンスの推進・啓発に資するため、2021 年度の事業活動及び助成者からの報告等をまとめた財団年報（第 23 号）を 8 月前後に発行する。内

容の一部は財団HPにも掲載する。併せて財団パンフレットを更新しHPにも掲載する。